

## [花き部門]

### 1. 暗期中断による開花抑制効果が高い品種を用いた小ギクの夏秋需要期連続出荷

#### [要約]

暗期中断処理による開花抑制効果が高い小ギク品種を用いると、7～9月の夏秋需要期に同一品種を連続出荷できる。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 野菜・花研究室

[連絡先] 電話086-955-0277

[分類] 情報

---

#### [背景・ねらい]

夏秋小ギクは露地圃場で無電照栽培するのが一般的であり、開花調節はほとんど行われていない。このため、ほとんどの生産者は、7月の新盆、8月の旧盆、9月の秋の彼岸の各需要期ごとに異なる品種を栽培しており、コスト的にも労力的にもロスが多い。このため、暗期中断（以下、NB）処理による開花抑制効果が高い品種を用いて、同一親株から得た挿し穂及び暗期中断処理を用いた同一品種による夏秋需要期連続出荷の可能性を検討する。

#### [成果の内容・特徴]

1. 4月5日あるいは6日定植・NB処理区の平均開花日は、概ね新盆出荷に適する時期である。2011年の「ほたる」、2011年及び2012年の「すばる」ではやや遅いが、NB処理打ち切り日を早めることで、適する時期になると考えられる（表1、2）。
2. 4月30日あるいは5月1日定植・NB処理区の平均開花日は、概ね旧盆出荷に適する時期である。2011年の「精こまき、ほたる」、2011年及び2012年の「はるか」でやや遅いが、NB処理打ち切り日を早めることで、適する時期になると考えられる（表1、2）。
3. 5月25日定植・NB処理区の平均開花日は、概ね秋の彼岸出荷に適する時期である。2011年の「精ちぐさ」、2011年及び2012年の「すばる」でやや早いが、NB処理打ち切り日を7月25日から1あるいは2週間遅らせることによって平均開花日は遅くなり、秋の彼岸出荷に適する時期になる。「ほたる」では頂花座止茎が見られたが、座止節位が高く、実用上問題はないと推察される（表1、2、3）。
4. 切り花長は、いずれの暗期中断処理区においても80cm以上である（表1、2、3）。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 前年の切り下株を12月に雨よけハウス内に移植して親株とし、1月28日から10℃加温及び深夜6時間のNB処理、2月16日から15℃加温を行って採穂した挿し穂を用いた結果である。
2. 「精ちぐさ、精こまき、ほたる、はるか、すばる」の結果であり、他の品種については同様の試験を実施する必要がある。

[具体的データ]

表1 定植日、NB処理の有無が夏秋小ギクの開花日及び切り花形質に及ぼす影響 (2011年)

品種	定植日 (月/日)	NB処理 の有無	開花日 (月/日)	切り 花長 (cm)	節数
精ち ぐさ	4/5	有	7/10	83	37
		無	7/7	77	34
	4/30	有	8/6	96	44
		無	7/7	43	19
	5/25	有	9/10	92	51
		無	7/26	26	9
精こ まき	4/5	有	7/8	87	42
		無	6/25	66	29
	4/30	有	8/16	100	42
		無	6/26	34	9
	5/25	有	9/11	92	53
		無	7/31	32	6
ほたる	4/5	有	7/12	97	45
		無	7/9	91	42
	4/30	有	8/11	107	42
		無	7/1	50	12
	5/25	有	9/12	115	54
		無	7/31	52	13
はるか	4/5	有	7/9	87	32
		無	6/28	71	27
	4/30	有	8/15	111	39
		無	7/4	47	16
	5/25	有	9/14	105	45
		無	7/25	34	6
すばる	4/5	有	7/18	94	39
		無	7/10	89	35
	4/30	有	8/9	104	45
		無	7/6	61	20
	5/25	有	9/6	106	54
		無	7/29	46	13

注) NB処理打ち切り日は、4/5区は5/16、4/30区は6/15、5/25区は7/25

表3 NB処理終了日が夏秋小ギクの開花日及び切り花形質に及ぼす影響 (2012年)

品種	NB処理 終了日 (月/日)	平均 開花日 (月/日)	切り 花長 (cm)	節数	頂花座 止茎率 (%)
精ち ぐさ	7/25	9/12	93	55	0
	8/1	9/19	103	61	0
	8/8	9/28	108	67	0
	無処理	7/24	24	8	0
すばる	7/25	9/9	104	52	0
	8/1	9/14	110	57	0
	8/8	9/22	113	60	0
	無処理	7/29	47	15	0

注) 頂花座止茎率は、摘心時未発蕾株の茎において、頂花が発達を停止したものの割合

表2 定植日、NB処理の有無が夏秋小ギクの開花日及び切り花形質に及ぼす影響 (2012年)

品種	定植日 (月/日)	NB処理 の有無	開花日 (月/日)	切り 花長 (cm)	節数	頂花座 止茎率 (%)
精ち ぐさ	4/6	有	7/8	86	39	0
		無	6/22	53	22	0
	5/1	有	8/2	82	40	0
		無	7/3	37	16	0
	5/25	有	9/12	93	55	0
		無	7/24	24	8	0
精こ まき	4/6	有	7/5	90	41	0
		無	6/7	40	15	0
	5/1	有	8/8	87	41	0
		無	6/23	25	7	0
	5/25	有	9/12	94	53	3
		無	7/28	32	9	0
ほたる	4/6	有	7/9	96	41	0
		無	6/21	63	26	3
	5/1	有	8/8	99	42	0
		無	6/24	23	4	8
	5/25	有	9/15	113	48	32
		無	7/22	36	7	38
はるか	4/6	有	7/9	91	31	0
		無	6/17	50	19	0
	5/1	有	8/15	91	32	0
		無	7/2	40	12	0
	5/25	有	9/15	103	43	2
		無	7/28	37	7	0
すばる	4/6	有	7/13	99	40	0
		無	6/30	77	30	0
	5/1	有	8/7	91	38	0
		無	7/5	56	19	0
	5/25	有	9/9	104	52	0
		無	7/29	47	15	0

注) NB処理打ち切り日は、4/6区は5/16、5/1区は6/15、5/25区は7/25

頂花座止茎率は、摘心時未発蕾株の茎において、頂花が発達を停止したものの割合

[その他]

研究課題名：温暖化に対応した夏秋需要期キク安定開花調節技術の開発

予算区分：受託（気候変動プロ）

研究期間：2010～2014年度

研究担当者：森義雄、藤本拓郎

関連情報等：1) 平成23年度試験研究主要成果、61-62

2) 森ら(2011)園芸学研究、9(別2):545

3) 森ら(2012)園芸学研究、10(別2):258